

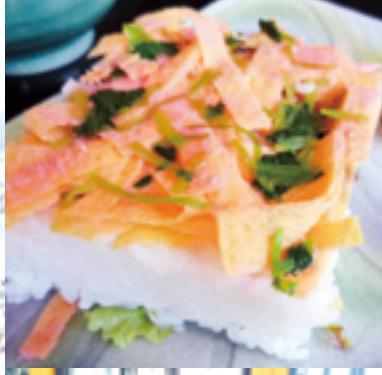


障がいのある方の旅をもっと楽しく
**山陰・山陽
バリアフリー
観光ガイドブック**

定価1260円(税込)



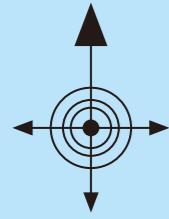
みんなで、身近で楽しい旅をしよう。



ふらっと出かける中国地方の旅
「さあ、旅に出よう」
障がい者が出かけた旅のレポート10



山陰・山陽(中国5県)MAP



凡 例	
有料道路・高規格国道	緑色の線
国道	オレンジ色の線
JR線・私鉄道	黒い線
新幹線	青い線
空港	飛行機アイコン
道の駅	駅舎アイコン
都道府県界	赤い点線
航路	点線

0 10 20 30km

島根県

隠岐諸島



日本海

広島県

山口県

香川県

徳島県

福岡県

愛媛県

高知県



山陰・山陽 バリアフリー観光ガイドブック

Content's



003 ふらっと出かける中国地方の旅 さあ、旅に出よう。

- 004 旅のレポート① 古都・松江から鳥取砂丘へ。山陰横断の旅
- 007 旅のレポート② 雄大な自然を巡る蒜山・大山
- 008 旅のレポート③ 縁結びを巡る松江・出雲の1泊2日の旅
- 009 旅のレポート④ 島根と鳥取の境目、中生む圏域を巡る旅
- 010 旅のレポート⑤ 宮島・広島・石見銀山、世界遺産を巡る旅
- 013 旅のレポート⑥ 大和の故郷をめぐる吳の旅
- 014 旅のレポート⑦ 倉敷・鞆の浦・尾道を巡る日本の街並みを楽しむたび
- 017 旅のレポート⑧ 情緒溢れる街並みを巡る岩国・柳井の旅
- 018 旅のレポート⑨ 秋吉台（秋芳洞）・萩・津和野を巡る旅
- 021 旅のレポート⑩ 下関で海を感じ、山口で温泉を堪能するたび

022 おすすめ観光スポット・宿泊・交通・イベント情報が満載 中国5県 エリア別観光情報

- 022 島根県エリア情報
- 038 鳥取県エリア情報
- 050 山口県エリア情報
- 065 コラム 旅の先輩
- 066 岡山県エリア情報
- 076 コラム 旅の先輩
- 089 広島県エリア情報

090 手軽に使えるバリアフリー情報 バリアフリーツアーセンター、 バリアフリー情報サイト紹介

- 090 旅先のバリアフリー案内と介助サポート
- 092 松江・山陰バリアフリーツアーセンター紹介
- 095 山口・岡山のバリアフリーツアーセンター紹介
- 096 呉バリアフリーツアーセンター紹介
- 097 役立つバリアフリー情報サイト
- 098 全国に広がる障がい者の旅を支援する団体情報
- 099 JBOS～視覚障がい者の旅のサポート～
- 100 中国地方 鉄道車両バリアフリー情報
- 102 オストメイト対応トイレ情報

- 103 索引



古都・松江から鳥取砂丘へ。山陰横断の旅

2泊3日
の旅

旅のレポート①

泉」がお勧め。松江の中心市街に隣接し、名勝宍道湖を臨む温泉街は、バリアフリー対応の宿も多い。



1泊
2泊3日の山陰旅。出発地点は
城下町松江の玄関口JR松江駅

松江市観光ボランティアガイドの皆さん、普段松江城を中心に観光ガイドをしている団体。現在は徐々に観光案内と併せて、簡単なサポートも、可能な体制づくりを行っています。松江駅で合流し、まずは「カラコロ工房」へ。

移動は松江市内の主要な観光スポットを巡ることができる、赤い車体の「ぐるっと松江レイクライン」を利用。

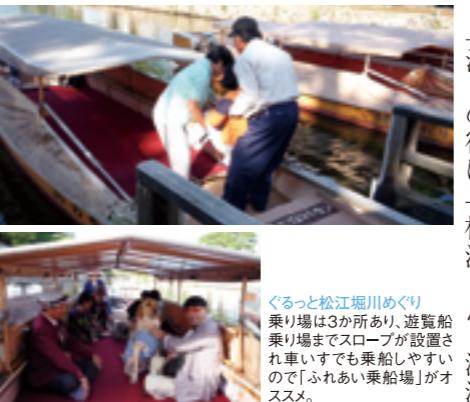
カラコロ工房は、旧日本銀行松江支店を改装した「創る、見る、味わう」を楽しむことができる観光スポット。和菓子作りやアクセサリー作り

など沢山ある工房体験から、今回は出雲らしい「勾玉づくり」を体験。勾玉づくりは、お店の方に親切に対応してもらいながら白い石を紙やすりで削っていく。石をうまく固定できない方でも、きつちりと押さえてもうらなどのフォローもしてもらえる。

1泊
水面から楽しむ
城下町・松江

松江駅前にあるバスター「ミニマルカラ」、日本交通のバス「市内線 下り(一部ノンステップ)」を利用すると、白壁土蔵群赤瓦周辺に約10分で到着。

松江城の周りにある内堀と外堀を1周50分で巡る遊覧船「ぐるっと松江堀川めぐり」は車いす使用者も多く楽しんでいる観光スポット。車いす使用者の乗船の仕方はホームページに動画での説明があるので、ぜひ



交通機関のポイント

「ぐるっと松江レイクライン」の料金は一律200円。松江駅前から、20分に1本という間隔で出発しており、松江駅を(10時とか、11時)といった丁度の時間に出発する便はノンステップバスが走っている。



「ぐるっと松江レイクライン」車内アナウンスで、沿道の観光案内を聞くことができる所以観光にはお勧め。



2泊
汽車の旅で
白壁の町・倉吉へ

松江駅にてNPO法人「トラベルフレンズ」・どつとりのスタッフと合流。鳥取エリア全域をサポートしているので、心強い。松江から倉吉駅までの移動は山陰本線を走っている2両編成の特急「スーパーまつかぜ」や「スーパーおき」がお勧め。

倉吉駅は駅員さんにスロープ等で対応してもらうことが可能だが、事前連絡しておくことが望ましい。駅構内には、車いす用のトイレが1か所設置されている。

倉吉駅前にあるバスター「ミニマルカラ」、日本交通のバス「市内線 下り(一部ノンステップ)」を利用すると、白壁土蔵群赤瓦周辺に約10分で到着。倉吉では趣のある白壁土蔵群の町並み散策がお勧め。また、名物料理「もちしゃぶ」も外せない。薄く切った板状のもちを、上品な味わいの出汁にしゃぶしゃぶと泳がせ野菜を包んで食べれば、至福の一時が味わえる。

町並みの中には、過去グッドトイレ10選にも選ばれた多目的トイレだ。同一のルートで再び倉吉駅へ。

倉吉駅は駅員さんにスロープ等で対応してもらうことが可能だが、事前連絡しておくことが望ましい。駅構内には、車いす用のトイレが1か所設置されている。

2泊
中国庭園を
ゆったりと楽しもう

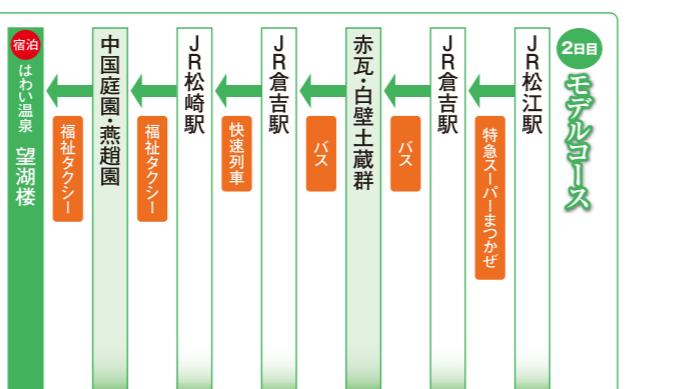
普通列車を利用して、JR松崎駅で下車。駅からは福祉タクシーを利用して、中国庭園・燕趙園へ。燕趙園は、鳥取県と中国河北省の友好のシンボルとして建設された中国庭園。ドラマ「西遊記」で一部ロケ現場として活用された施設で、園内はよく移動が可能。園内の屋台では、飲食も味わえるのが嬉しい。

再びタクシーで移動し、「はわい温泉」へ。はわい温泉は、東郷湖を臨むロケーション抜群の温泉街。宿によっては、車いすトイレが無いところもあるので事前確認が必要。

交通機関のポイント



JR倉吉駅
倉吉駅は高架になっており、反対側のホームに行くには一度線路に降りて渡る必要があり、駅員さんに対応してもらえた。



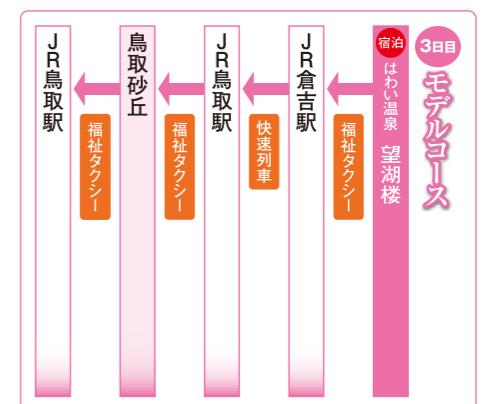
3日目 雄大な砂丘の風景を堪能

はわい温泉からタクシーに乗り、倉吉駅から快速列車を利用して鳥取駅へ。日指すは鳥取の代名詞「鳥取砂丘」。鳥取駅は高架になっているが、1階に下りるためのエレベーターがホームの端にあるので少し移動時間がかかる。駅構内には車いす用時間がかかる。駅構内には車いす用トイレスが配備されている。

鳥取駅からは、バスの砂丘線（二部ノンステップ）や、福祉タクシーなどを利用すると、約20分で到着できる。砂丘の入口にある、サンンドパルとつとりにはサンダバギーが常時配備されているが、自走できないのでサポートが必要。

「馬の背」と呼ばれる鳥取砂丘最大の丘から日本海を望めば、次は海

の向こうへチャレンジしたくなるかも。



旅びとの感想
女性30代
街の景色も素敵でしたし、体験工房も面白かったです。一番印象的だったのは、地元のガイドさんとのコミュニケーションです。

今までの旅行といえば近場で、ほとんど家族としかしたことがないかったので、正直不安が大きかったです。どの現地スタッフさんもそれぞれ親切でした。また、「お国言葉」での説明も楽しく、何よりも家族以外の人と、こんなにも楽しく会話できたのが、嬉しかったです。

『自力でこんな旅行をするのは、ちょっと無理かな……』と思っていたが、また一人旅してみたいです。

雄大な自然を巡る蒜山・大山の旅

1泊2日の旅

1日目 豊かな自然の中の高原地帯を満喫



今回は車での移動を中心としたモデルコースを提案。

岡山と鳥取をまたぐ蒜山(ひるぜん)高原。標高500～600m程の高原地帶には、日本最大のジャージー牛の牧場があり、天気が良ければ鳥取の大山を望むことができる。

まずはお腹を満たそうと向かって先は、ひるぜんジャージーランド。

ジャージー牛の育成日本最大を誇る蒜山高原。ジャージーランドでは、乳製品の加工場やショッピング、牧場、レストランなどがあり、美味しいものが沢山楽しめる。

次は車で約10分。印象的な建物



ヒルゼン高原センター
ヒルゼン高原センター内は通路も広く、館内外に車いす用トイレスが配備されている。



園内をぐるっと回っている屋根付きの回廊を巡って園内を散策すれば、様々な出会いが待っている(上:とつとり花回廊)。

交通機関のポイント



ジャージーランド
入口は階段とスロープがあり、館内に車いす用トイレスも完備。建物内に入れば特に移動には困らないが、2階にある休憩コーナーへ行くには階段しかない。

とつとり花回廊
各所に車いすトイレスやエレベーターが設置されており、移動には困らない。また通路幅も広々としている。

2日目 大山の自然と色鮮やかな花々を楽しむ

お土産コーナーとレストランがあるドライブインと、様々なアトラクションを楽しむことができるジョイフルパークは、気分を楽しくさせてくれる。

旅の宿は高速道路で米子まで約30分。車いすトイレが配備された宿も多くある皆生温泉がお勧め。

の”ヒルゼン高原センター”へ。豊富なお土産コーナーとレストランがあるドライブインと、様々なアトラクションを楽しむことができるジョイフルパークは、気分を楽しくさせてくれる。

旅の宿は高速道路で米子まで約30分。車いすトイレが配備された宿多くある皆生温泉がお勧め。

3日目 豊かな自然の中の高原地帯を満喫

岡山と鳥取をまたぐ蒜山(ひるぜん)高原。標高500～600m程の高原地帯には、日本最大のジャージー牛の牧場があり、天気が良ければ鳥取の大山を望むことができる。

まずはお腹を満たそうと向かって先は、ひるぜんジャージーランド。

ジャージー牛の育成日本最大を誇る蒜山高原。ジャージーランドでは、乳製品の加工場やショッピング、牧場、レストランなどがあり、美味しいものが沢山楽しめる。

次は車で約10分。印象的な建物

今回は車での移動を中心としたモデルコースを提案。

岡山と鳥取をまたぐ蒜山(ひるぜん)高原。標高500～600m程の高原地帯には、日本最大のジャージー牛の牧場があり、天気が良ければ鳥取の大山を望むことができる。

まずはお腹を満たそうと向かって先は、ひるぜんジャージーランド。

ジャージー牛の育成日本最大を誇る蒜山高原。ジャージーランドでは、乳製品の加工場やショッピング、牧場、レストランなどがあり、美味しいものが沢山楽しめる。

今回は車での移動を中心としたモデルコースを提案。

岡山と鳥取をまたぐ蒜山(ひるぜん)高原。標高500～600m程の高原地帯には、日本最大のジャージー牛の牧場があり、天気が良ければ鳥取の大山を望むことができる。

縁結びを巡る松江・出雲の旅

旅のレポート③

1泊2日の旅

島根と鳥取の境目、中海圏域を巡る旅 1泊2日の旅

旅のレポート④



1日目 妖怪たちと語らう
ゆったり散歩き



水木しげるロード
ロードの各所に車いす用トイレも配置されているのが強い水木しげるロード。



沿道にあるお店を巡りながらの食べ歩きも楽しい。
2011年の春には駅の高架工事が完成予定の米子駅。(靈)0番ホームから出発。

島根と鳥取の境目でもある、中海圏域を巡る旅の出発点は、米子駅から。まず向かうのは、水木しげるロード。妖怪の名前が着いた各駅を約1時間かけてゆっくりと進むと境港駅が見えてくる。

駅から水木しげる記念館までの約800mの道のりが、通称“水木しげるロード”と呼ばれるエリア。沿道には130体以上の妖怪ブロンズ像が並び、連日多くの観光客が訪れるスポットだ。水木しげるロードの終着点、商店街のアーケードの中にある“水木しげる記念館”は、100年の歴史を刻む料亭を改築して造られた雰囲気のある外観



足立美術館
四季折々で楽しめる美しい日本庭園。



安来節演芸館
館内説明用の点字のパンフレットも設置されているのがうれしい。お食事処「どじょう亭」で、名物のどじょう料理を楽しむのもお勧め。

が特徴。館内では、数多くの妖怪オブジェや水木先生の生い立ち紹介、オリジナルイラストや多くの書物を楽しむことができる。車いすトイレも配置されている。妖怪の世界に足を踏み入れてみよう。旅の宿は、境港からも近い皆生温泉。館内に車いす用トイレを有する宿も多数ある。

足立美術館へは、安来駅から無料シャトルバスが10本近く出ている。安来駅からは黄色い車体が目印のイエローバスも便利。スロープ付き車も数台だが不定期に走っている。

足立美術館は横山大観をはじめとする近代日本画や、陶芸、彫刻など数多くの展示物を有している。そして自然の山々を借景とした四季折々の日本庭園は約500坪の広さを誇り、その美しさは日本一と言われている。

足立美術館から約100m先にある、どじょうすくいで有名な安来節が楽しめる安来節演芸館も立ち寄ってみよう。



交通機関のポイント



足立美術館
館内には数か所スロープがあるが、館内の職員もおられるので安心して入館できる。

安来節演芸館
安来節演芸館入口の様子。段差もなくスムーズに入ることができる。

松江駅から八重垣線が便利。乗車時間約20分で到着。八重垣神社は、近年縁結びスポットとして、全国から注目されている。境内に入つてもコンクリートで通路が確保されているので基本的に段差はないが、一部小さな溝があるので注意。本殿でしっかりと良縁祈願をしたら、恋占いができる縁結びスポット「鏡の池」へ。途中、砂利道や木の根があるので、サポートが必要。車いす用トイレも配置されているが、入口付近が砂利の坂道になつていて、こちらもサポートがある方が望ましい。

八重垣神社から再びバスに乗り、一畠電車の松江しんじ湖温泉駅へ。電車に揺られること約20分で松江フォーゲルパーク前駅に到着。鳥たちと年中満開の花々に囲まれた全天候型の観光スポットで、心行くまで楽しめる。旅の宿は、松江しなじ湖温泉へ。

宿泊先、松江しんじ湖温泉「なにわー水」のバリアフリールーム。部屋の中で温泉にも入浴することができる宿。



交通機関のポイント

1 煙電車
煙電車に乗る際は、駕員さんが親切にスロープを出すなど、親切に対応してもらえる。電車の中には、車いす用のスペースが確保されている。

松江フォーゲルパーク
松江フォーゲルパークで園内には高低差があるが、車いす使用者も移動がしやすいように福祉車両が常備している。

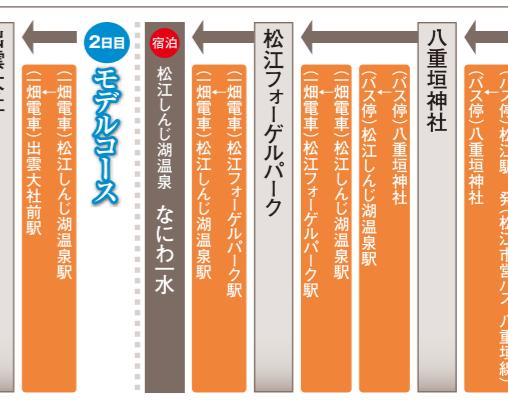


今、話題のパワースポット。その元祖とも言える出雲地方で、特に注目を浴びているのが「縁結び」。新しい出会いを求める人、今の縁を更に深めたい人にもオススメ。



車いす用トイレは広大な敷地の中に6箇所設置してある。

松江しんじ湖温泉駅から、約1時間で最寄駅の出雲大社前駅へ。駅には車いす用トイレが無いので注意。松江大社号以外は、途中川跡駅で乗り継ぎになる。こちらも駕員さんに対応してもらえるので、事前連絡しておくと安心。



宮島・広島・石見銀山、世界遺産を巡る旅

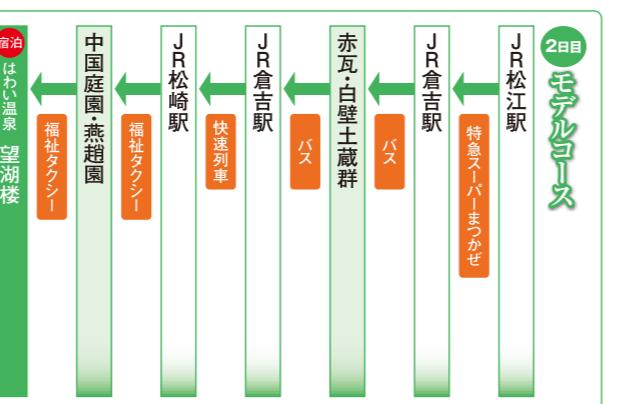
2泊3日
の旅



船上から見た原爆ドーム。またトイレの写真は原爆ドーム前にあるもの。



平和の大切さを改めて知り、祈りをささげる一行。



島バスセンターに向かう。広島そごうの3階がバスセンターになつておる、路線バスから、空港連絡バス、長距離バス等の総合発着場になつてゐる。バスセンターから石見交通のバスを利用して、島根県の“石見銀山”を目指す。1日2本出ているバスはリフト付きや、低床バスではないので、折り畳んで入るなどの対応が必要。介助同伴が望ましい。

この日は、大田市駅まで行き、駅周辺で宿泊。

ホテルで朝食を済ませ、平和記念公園を散策。修学旅行などで訪れたことがある方も、じつくりと見て回ることでまた新たな発見もある。毎年8月6日には平和記念式典があり、沢山の方々が慰靈と平和への祈りを捧げることでも有名だ。公園内には、各所に公衆トイレや車いすはあるが、車いすでも移動しやすくなっている。

2日目 広島市内を散策しながら 平和について考える

ホテルで朝食を済ませ、平和記念公園を散策。修学旅行などで訪れたことがある方も、じつくりと見て回ることでまた新たな発見もある。毎年8月6日には平和記念式典があり、沢山の方々が慰靈と平和への祈りを捧げることでも有名だ。公園内には、各所に公衆トイレや車いすはあるが、車いすでも移動しやすくなっている。

2日目 広島市内を散策しながら 平和について考える

ホテルで朝食を済ませ、平和記念公園を散策。修学旅行などで訪れたことがある方も、じつくりと見て回ることでまた新たな発見もある。毎年8月6日には平和記念式典があり、沢山の方々が慰靈と平和への祈りを捧げることでも有名だ。公園内には、各所に公衆トイレや車いすはあるが、車いすでも移動しやすくなっている。

中国地方の世界遺産を巡る旅の出発地点は広島駅。広島駅から、普通電車を利用して約25分程度で宮島口駅へ到着。駅構内には、車いす用トイレも設置されている。

宮島口駅を出て、国道2号線を渡ると宮島へ渡る宮島口フェリーターミナルが見えてくる。宮島まで、フェリーの所要時間は約10分程度。風に吹かれながらデッキにいるにはちょうど良い時間だ。厳島神社の大鳥居を横に見ながら、あつという間の船旅は終了し、宮島の玄関口、宮島桟橋へ到着。

宮島桟橋を出て、厳島神社を目指す途中には、沿道にお土産物屋や飲食店が数多く立ち並ぶ、表参道商店街などがある。もみじまんじゅうの食べ比べや名物の焼がきを食べ歩きすれば、旅の気分もますます盛り上がりそうだ。世界遺産“厳島神社”は入口にスロープがあり、海上に建つ鮮やかな朱色の回廊は車いすでも移動しやすい。ただし、回廊に敷いてある板と板の間には隙間があるので、うつかり物を落とさないよう気をつけよう。内部に車いす用のトイレも配備されている。

帰りは宮島と平和公園を船で結ぶ。船は宮島と平和公園を船で結ぶ。

1日目 世界遺産を巡るたびに出発！ まずは「チボシ船旅で宮島へ

1日目 海と大鳥居の美しいコントラストを楽しむ



厳島神社と参道
厳島神社へは一部砂地だが、基本的に道路は整備されているので、移動はしやすい。

んでいる、“ひろしま世界遺産航路”を利用してみよう。船内には車いす用の昇降機とスペースもあるのでスマートに乗船することができる。瀬戸内海から、太田川を登り広島の街を抜け、平和公園へ。平和公園の桟橋には、8段程度の階段があるので、介助が必要となる。

本日の宿“三井ガーデンホテル”へ。ホテル内には、車いすでも入りやすいお風呂やトイレがあるバリアフリー対応の部屋がある。ゆっくりと体を休め、翌日の平和記念公園の散策と“平和記念資料館”的見学に備えることにした。



みやじま丸
車いす用トイレを完備したバリアフリー対応の「みやじま丸」。



んでいる、“ひろしま世界遺産航路”を利用してみよう。船内には車いす用の昇降機とスペースもあるのでスマートに乗船することができる。瀬戸内海から、太田川を登り広島の街を抜け、平和公園へ。平和公園の桟橋には、8段程度の階段があるので、介助が必要となる。

本日の宿“三井ガーデンホテル”へ。ホテル内には、車いすでも入りやすいお風呂やトイレがあるバリアフリー対応の部屋がある。ゆっくりと体を休め、翌日の平和記念公園の散策と“平和記念資料館”的見学に備えることにした。



倉敷・鞆の浦・尾道を巡る日本の街並みを楽しむ旅

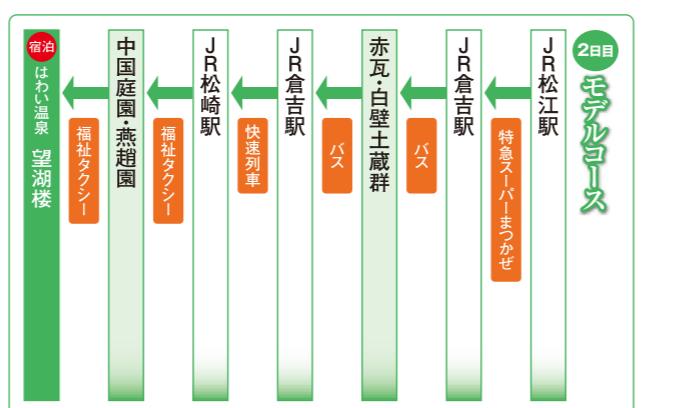
ひ”大原美術館“に立ち寄りたい。昭和の手で設立された日本最初の西

フリルームがあり心強い。最上階には天然温泉もある。



交通機関のポイント

JR倉敷駅から美観地区まで
JR倉敷駅から“倉敷美観地区”までは1km弱の距離。徒歩約15分で行くことができる
ので、天気の良い日などは、散策がてら歩道をゆっくり歩いてみよう。



交通機関のポイント

福山駅
福山駅の駅前広場
現在工事中で平成
年の春頃に完成予
移動もしやすくなりそ



鞆の浦の町並みには、狭い道路が多く、車の往来も多くあるので車いす等での移動は気をつけ



ビュッフェスタイルの自然食レストランがお勧めの宿。

2回目 港町「鞆の浦」で
かつての恋愛を振り返る

旅の始まりは、JR倉敷駅から。駅前のバスターミナルからバスが出ていて、ノンステップバスは限られていて、事前に確認しておくと安心だ。

倉敷美觀地区は倉敷市の伝統的建造物群保存地区で、倉敷川周辺に白壁なまこ壁の屋敷や蔵が立ち並ぶ、かつての天領時代の町並みを残した風情ある地区。美觀地区で観光情報を得るのなら、町並みの中ほどにある観光案内所「倉敷館」に足を運んでみよう。大正時代に町役場として建てられた洋風木造建築だが、入口はなだらかなスロープになつた。

1回 膨大な美術品を
心行くまで堪能する

る。無料休憩所にもなっており、車いす用トイレもあるので旅の拠点にしたい場所だ。

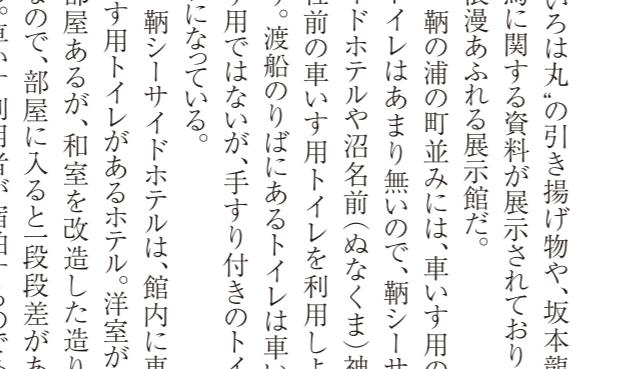
かつて物資を積んだ川舟で賑わっていた倉敷川も、今は観光川舟”くらしき川舟流し”で川から町並を望むことができる。船着き場は階段状になっている。3月～11月は船頭さんは2人体制、12月～2月は1人なので、サポート同伴の方が望ましい。舟に乗る際のチケットは観光案内所倉敷館で取り扱っている。



の入口は車いす専用
口とスロープがあり、2
いす用トイレも配備さ
る。

2回目 漢町「鞆の浦」でゆったりとした気分を味わう

い路地があり、水産加工物や名産の保命酒“を売るお店等が軒を連ねている。地元の方との気さくな会話も旅の楽しみの一つ。路面は石畳になつていて、車いすでも移動に大きな支障はない。路地を抜けると一気に視界が広がり、港と鞆の浦のシンボル“常夜燈”が出迎えてくれる。



”いろは丸“の引き揚げ物や、坂本龍馬に関する資料が展示されており、浪漫あふれる展示館だ。

鞆の浦の町並みには、車いす用のトイレはあまり無いので、鞆シーサイドホテルや沼名前（ぬなくま）神社前の車いす用トイレを利用しよう。渡船のりばにあるトイレは車いす用ではないが、手すり付きのトイレになっている。

鞆シーサイドホテルは、館内に車いす用トイレがあるホテル。洋室が二部屋あるが、和室を改造した造りなので、部屋に入ると一段段差がある。車いす利用者が宿泊するのであれば、介助司半が望ましい。



情緒あふれる町並みを巡る岩国・柳井の旅

旅のレポート⑧
1泊2日の旅



1日目 アーチが美しい錦帯橋を中心街中で食べ歩きも

岩国駅から、バスに乗り約20分。まるまる木造の橋、「錦帯橋」が見えてくる。美しいシルエットは5連のアーチから構成され、基本的に階段の連続。対岸のまちなみへ行くには、約100メートル上流にある金城橋を渡るのがお勧め。対岸のまちなみには、各所に車いす用トイレが配置されている。

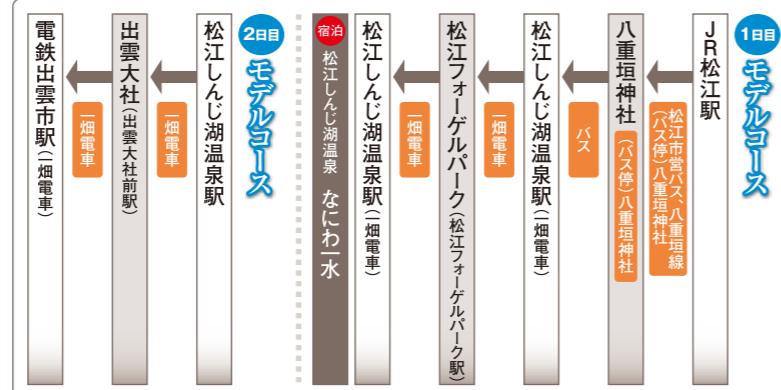
岩国城に上がるロープウェーは、車いすでも上がりやすいように階段昇降機が設置。ぜひ城山からも、錦帯橋を眺めてみては。また名物の岩国寿司を提供するお店も街中に沢山あるので、こちらもお勧めだ。バス



柳井クルーズホテル
柳井駅近くにある柳井クルーズホテル。館内に車いす用トイレもあり、旅の宿として利用してみては。



白壁の町並み
約200メートルに渡り江戸時代の商家が並んでおり、そぞろ歩きが楽しそうな雰囲気が漂ってくる。軒下につるされた伝統民芸品の「金魚ちょうちん」も雰囲気を醸し出している。



交通機関のポイント



バスターミナル
錦帯橋のバスターミナルは綺麗に整備されており、バスのチケット売り場は、観光案内所も兼ねている。ターミナル内には車いす用トイレも設置。



ロープウェー乗場から千光寺まではかなり急な坂道となっているので、介助同伴が望ましい。

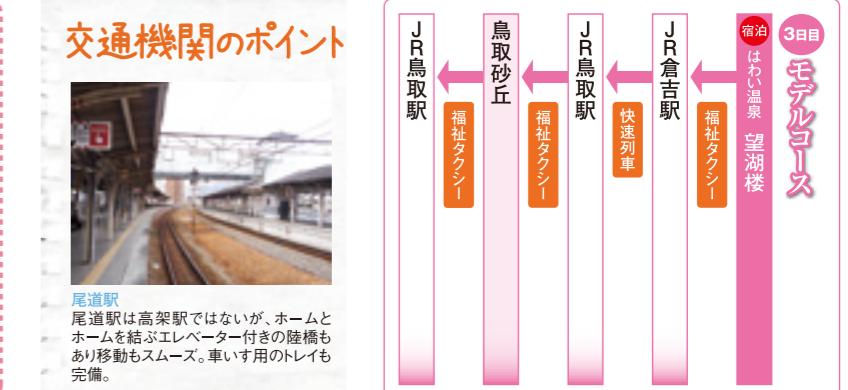


鞆の浦から再びバスに乗り、福山駅へ。普通列車に乗り、約20分程度で尾道駅に到着。まずは、尾道を紹介する写真では定番中の定番、千光寺を目指す。

山の上にある千光寺迄はロープウェー、車を使用して行く方法があるが、今回はロープウェーを利用してみた。

尾道の駅前バスターミナルから、おのみちバス（二部ノンステップバス）に乗ってロープウェー乗場のあるバス停「長江口」までは5分。エレベーターも配備されているがロープウェーに乗るには、山麓駅と山頂駅共に階段を利用する。山麓駅と山頂駅共に階段を利用することになる。千光寺近くに事前に連絡をすれば、車で近くまで行くことができるの、こちらの方法をとることをお勧めする。千光寺からの眺めは素晴らしい、晴れた日は四国連山まで見えることも。806年に創建された歴史ある寺院は、近年はパワースポットとしても人気を集めている。ぜひ訪れてみて欲しい。

ロープウェー乗場の山麓駅から、約10分のところにあるのは、おのみち映画資料館“小津安一郎「東京物語」”をはじめ、尾道ゆかりの作品や資料を展示している大正時代の穀物倉庫を改修した施設で、映画好きならぜひ足を運んでみていただきたい。



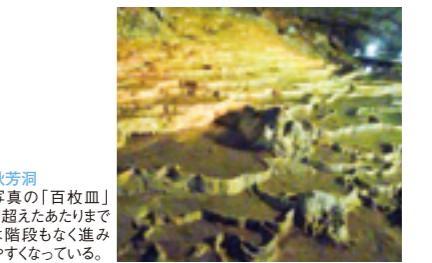
秋吉台(秋芳洞)・萩・津和野を巡る旅

2泊3日
の旅

織りなす風景は、日本ではあまり見ることのできない光景。展望台までは緩やかな坂道だが、ぜひとも見てほしい。

カルスト展望台から少し坂を下りたところにある、秋芳ロイヤルホテル秋芳館が本日の宿だ。展望台から

は徒歩で約5分の好立地なうえ、1階に車いす用のトイレもある。また館内は大きな段差もなく移動やすい。



1日目 大鍾乳洞・秋吉洞で悠久の時間と壮大な自然を感じる

今回の旅は山口県西部長門地方から島根県西部、山陰の小京都・津和野へ向かう自然と城下町の歴史を堪能する旅。

まずは新山口駅から防長バスに乗り、秋吉台を目指す。約40分で秋吉洞バスセンターに到着。ターミナルに隣接する観光センターでは、旅路には必要な情報が得られる。建物の周囲は段差が多いが一部にスロープ状に整備された個所もある。

早速“秋芳洞”に行つてみよう。お土産物を販売するお店が並ぶ商店街の先に、秋芳洞案内所が見えてくる。商店街の途中には、綺麗に整備

された多目的トイレのある広場もある。東洋屈指の大鍾乳洞“秋芳洞”的歩道を進むと「百枚皿」や「洞内富士」、「黄金柱」と呼ばれるような幻想的な景色が広がっている。車いすで入る場合、入口から急な坂等もあり介助がある方が望ましい。「百枚皿」を超えたあたりまでは階段もなく、進みやすくなっている。

“秋芳洞”で時間が生み出す幻想的で壮大な景色を堪能した後は、タクシーや車を利用して、秋吉台のカルスト展望台を目指そう。秋芳洞の上に広がる“秋吉台”は日本最大のカルスト台地。樹木のない広々とした大地に突き出た無数の石灰岩が



秋吉台のカルスト展望台と秋芳ロイヤルホテル秋芳館
カルスト展望台ほど近い秋芳ロイヤルホテル秋芳館。

2日目 萩焼の魅力に触れ、焼き物体験を楽しむ

ホタルから送迎バスを利用して秋芳洞バスセンターまで行き、萩を目指す。約1時間程で、東萩駅に到着する。

萩を巡るのなら“萩循環まあーるバス”がおすすめ。東回りコース(晋作くん)と西回りコース(松陰先生)と、西回りコース(晋作くん)とが設定されており100円の均一料金で30分間隔で運行している。まずは東萩駅から東回りのバスに乗ろう。バス停「萩焼窯元 服部天龍前」で下車すれば萩焼き体験ができる“天龍”で萩を巡るのなら“萩循環まあーるバス”がおすすめ。東回りコース(晋作くん)と、西回りコース(松陰先生)と、西回りコース(晋作くん)とが設定されており100円の均一料金で30分間隔で運行している。まずは東

萩博物館とその周辺に城下町の趣が残る、なまこ壁の美しい町並みを眺める多くの観光客がそぞろ歩きを楽しんでいる。ぜひこちらも足を運んでみてください。

萩市役所で西回りに乗り替え、萩博物館を目指す。萩博物館は“萩の歴史と街並みをゆとりと味わう”として「絵付け体験」と「ロクロ体験」ができる。今回はロクロ体験で湯のみ作りに挑戦! 親切な指導のもと、多くの方が体験しているので心置きなく楽しんでみよう。最終的にできた作品は、約3週間ほどで仕上げて送ってもらえる。

2004年に開館した総合博物館で、萩の歴史や自然、文化等をじっくりと知ることができる施設。幕末を中心、多くの人物を世に送り出した萩だけに、人物の紹介なども充実している。館内には「萩学なんでもB OX」なるものがあり、萩について思わず「へえ」と声が出てしまう様々な資料や実物のアイテムが詰まっている。点字表記があるものも多数あり、ぜひ棚からボックスを引き出して開けてみよう。

東萩駅に戻り、駅に隣接する萩の宿。部屋の中に、車いすでも入りやすいトイレとお風呂を完備したバリアフリーームがあるホテルで、館内の設備も充実している。



天龍窯

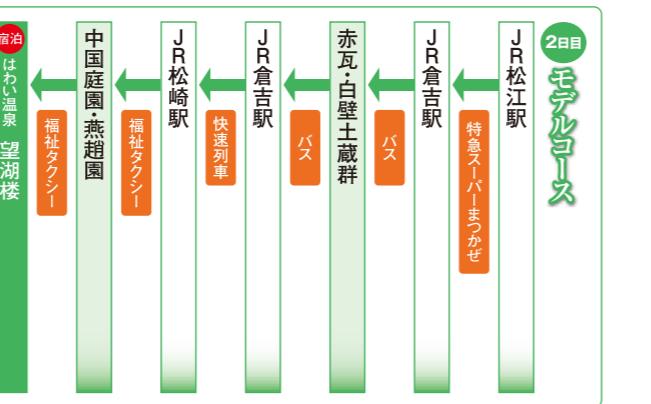


陶芸体験はもちろん、工房で製作された各種の焼き物を購入することもでき、お土産選びにも困らない。

交通機関のポイント



萩循環まあーるバス
“萩循環まあーるバス”的車両は全てノンステップバスになっており、乗り降りも安心。



交通機関のポイント



秋吉洞バスセンター
ターミナルには、車いす用トイレもある観光センターが隣接しており、情報収集にはもってこい。



日本最大級。すぐ間近で愛らしいペンギン達の姿を堪能できる。他にも、お腹を満たしたら、すぐ目の前にある”海響館”へ。2010年3月に新設された。パンギン村は展示施設としては数多くの店舗が並び、威勢の言い声が飛び交っている。早朝からでも楽しめるスポットだ。2階には新鮮な海産物を扱っている市場食堂もあるのでぜひ足を運んでみて。



ホテルかめ福
ホテルかめ福のバリアフリールーム。温泉がひかれた室内の浴室は、手すりや浴槽の縁などに檜をあしらい情緒溢れる。



山口サビエル記念聖堂
ステンドグラス越しに降り注ぐ光が室内の莊厳な雰囲気を一層引き立てている山口サビエル記念聖堂と、歴史ある建築美を楽しめる瑠璃光寺。

交通機関のポイント



新山口駅
車椅子で移動時に利用する荷物運搬用のエレベーターがある新山口駅の陸橋の様子。

下関駅改札を過ぎると階段を上る為のエスカレータの様な車いす用昇降機。事前に連絡しておく方が望ましい。



下関駅からサンデン交通のノンステップバスに乗り、バス停「唐戸」で下車。5分程で、関門海峡の活き活き空間”唐戸市場”に到着。市場では数多くの店舗が並び、威勢の言い声が飛び交っている。早朝からでも楽しめるスポットだ。2階には新鮮な海産物を扱っている市場食堂もあるのでぜひ足を運んでみて。

下関駅までバスで戻り、山陽本線で湯田温泉へ。山陽本線の新山口駅では線路を渡る際、荷物運搬用の工事用エレベーターを利用する。山口湯田温泉”ホテルかめ福”は、部屋でも温泉が楽しめるバリアフリールームを有している。

カヤやアシカのダイナミックなショーが楽しめる。

バス停「湯田温泉」から防長バスのノンステップバスに乗り、「市民会館前」で下車。山口市内に時の鐘を鳴り響かせる”山口サビエル記念聖堂”へ向かう。現在の聖堂は消失した旧聖堂の跡に新設されたもの。

サビエル記念聖堂から、徒歩約20分。タクシーで約5分の場所に、美しい瑠璃光寺・国宝・五重塔が見える。高さは31mもあり非常に堂々としている。室町時代中期における最も優れた建造物と称されており、山口市を訪れた際にはぜひ見てほしいスポット。五重塔や瑠璃光寺本堂までは、段差は特にならないが全体的に坂になっているので、サポートがある方が望ましい。



海響館
館内入口は階段状になっており、スロープと、エレベーターがそれぞれ配備されている。

魚市場の趣きを活かした建物で、多種多様な海の幸の買い物が楽しめる。店員さんのやりとりも楽しい旅の思い出だ。

1日 活き溢れる市場と美しい水族館で下関を知る

下関で海を感じ、山口で温泉を堪能する旅

旅のレポート⑩
1泊2日の旅

2日 山口の史跡の数々を訪れる

バス停「湯田温泉」から防長バスのノンステップバスに乗り、「市民会館前」で下車。

山口市内に時の鐘を鳴り響かせる”山口サビエル記念聖堂”へ向かう。現在の聖堂は消失した旧聖堂の跡に新設されたもの。

サビエル記念聖堂から、徒歩約20分。タクシーで約5分の場所に、美しい瑠璃光寺・国宝・五重塔が見える。高さは31mもあり非常に堂々としている。室町時代中期における最も優れた建造物と称されており、山口市を訪れた際にはぜひ見てほしいスポット。五重塔や瑠璃光寺本堂までは、段差は特にならないが全体的に坂になっているので、サポートがある方が望ましい。



安野光雅美術館



沙羅の木
津和野の街並みは、整備された沿道の脇に流れる水路には、色とりどりのコイが優雅に泳いでいる。



3日 山陰の小京都”津和野”で城下町の風情を心行くまで楽しむ

東萩駅から、バスに乗り、約1時間40分揺られ、島根県の津和野へ。駅前に津和野町観光協会があり、津和野観光について様々な情報を得ることができるので、まずはこちらに訪ねてみよう。車いす用トイレも配備されている。

観光協会を出るとすぐに、なまこ壁が特徴的な大きな建物”安野光雅美術館”が目に入る。淡い色調の水彩画でファンも多い津和野出身の画家・絵本作家、安野光雅の作品が心行くまで楽しめる。館内に段差などは無く、車いす用トイレも配備されている。

津和野の街並みは、歩道と車道の色分けもあり、点字ブロックもトイレも配備されている。



充実。通り沿いにある津和野“木”では、ティセントーと鷺舞広場に車いす用トイレが設置されている。殿町通りにある”沙羅の木”では、津和野名物”源氏巻き”を焼きたてで食べることができる。お土産コーナー、飲食施設、車いすトイレなどもあり、こちらもぜひ立ち寄ってみてほしい。